



ラウンドテーブル

危機のなかの ボーダースタディーズ

JIBSN竹富セミナー2022「危機のなかの境界地域」

■標準時の概要
 ~北方領土関係地域~
 国境線を境とする24の国に囲まれ、その影響を
 一層強く受けている
 本邦内で相隣する国境の半島連環には、2,3世に
 かけて100人単位に達している
 ~町民講演 前文~ 昭和46年11月3日制定
 わたしは北方領土問題基金の委員
 国境研究センターの理事
 上野の国境の町民です

パネリスト

- 田村 慶子 (北九州市立大学)
- 地田 徹朗 (名古屋外国語大学)
- 花松 泰倫 (九州国際大学)
- 池 炫周 直美 (北海道大学)
- 高田 喜博 (NPO 法人国境地域研究センター)
- ほか

進行役

岩下 明裕 (北海道大学)

開催日時 ※オンラインのみ

2023年
1月8日(日) 11:00 ~ 13:00

ロシアのウクライナ侵攻、中国の近隣地域への絶え間ない圧力、ミサイル連発で暴走する北朝鮮など、私たちの廻りは、冷戦終結後、最大の危機を迎えていると言っても過言ではありません。国家と国家が対峙するとき、境界地域ほどチャレンジに直面する場所はありません。このような危機の時代に果してボーダースタディーズはなにができるのか？2022年11月の境界地域研究ネットワークJAPANの竹富セミナーの成果を踏まえ、2023年という新しい年を迎えるにあたって、研究や実務の立場から議論します。

下記アドレスにて参加登録をお願いします。(参加費無料)
登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

参加申込用 URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_bmZqQtLnS-ODRT7eFpA7Ng



主催

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット (UBRJ)

共催

NPO 法人国境地域研究センター

人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「東ユーラシア研究」
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点 (EES-SRC)

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター「領域を超えた地域研究振興のための拠点形成」関連プロジェクト
「国際的な生存戦略研究プラットフォームの構築」

問い合わせ先 iwasi@slav.hokudai.ac.jp (担当・岩下)

